



社会教育課 ☎ 65-1300



別子山公民館



＼ つどう・まなぶ・むすぶ /

みんなの拠点 公民館

大島交流センター (旧・大島小学校)



皆さんは公民館・交流センターがどんなことをしているか知っていますか？文化祭や地域運動会など住民同士の交流拠点、地域と学校の協働拠点、地域の避難所としての防災拠点など、さまざまな活動の拠点となっています。

今回は、三つの公民館・交流センターで行っている行事を紹介します。ぜひ気軽に足を運んでみてください♪

やっと実現した運動会 笑顔満開

別子山公民館 ☎ 64-2211

別子山秋季大運動会

30年以上にわたり、学校と地域住民が交流を深めてきた一大イベント。大人も子どもも一緒に、さまざまな種目に汗を流しています。

今年度は当初、令和3年9月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、1カ月延期に。その延期日が雨天になるなど、さまざまな要因が重なり、11月にやっと開催にこぎ着けることができました。

本来なら住民と学校の共同行事ですが、感染症拡大の影響で、今回は学校主体で行われました。当日は青空の下、これまでの状況を吹き飛ばす勢いで、児童や生徒、教員たちが笑顔いっぱい、楽しく演技や競技に臨んでいました。

来年度こそ、通常通りの開催ができるように祈るとともに、運動会にとどまらず、児童・生徒の笑顔と素晴らしい成長を見届けていきたいと思ひます。



公民館は地域で一番のよりどころです。別子山は高齢化が進んでいるので、上部地区の公民館と連携し、非常時の態勢を整えています。

和田 仲吉 館長



公民館の活動を機に誕生した次世代ネットワーク。地域の子どもたちが積極的に関わってくれるのがうれしいです。だんだん輪も広がっています！



高田 実 館長

「災害が起きたらみんなはどうする？～危険から身を守る～」(防災事業)

令和3年11月、新居浜小学校体育館と新居浜公民館で開催しました。

この事業は、地域の中高生による「次世代ネットワーク」が企画、運営を担っています。本年度は7月からメンバーが企画会議を重ね、公民館のサポートの下、準備を進めてきました。

8月、9月と延期になり、ようやく迎えた当日は、体験、学習、調理の三つのコーナーを設置。既製品ではなく家庭にあるダンボールで一からベッドを作ったり、多くの物品の中から避難袋に入れるものを取捨選択したりと、工夫を凝らした体験学習が行われました。昨年変更になった避難指示と警戒レベルの説明もあり、最新情報を学ぶこともできました。

活動を知った中学生がボランティアで参加するなど、幅広い世代が集う素晴らしい事業となりました。

防災運動会

少子高齢化がますます加速し、島には独り暮らしの高齢者もたくさんいます。そんなお年寄りが孤立することなく、みんなで集い、親睦を深めるイベントとして毎年開催しています。

テーマは、「防災をもっと身近に！楽しく！」、そして「自分の命は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る」です。防災について楽しく学び、住民同士がつながることで、安全・安心なまちづくりを目指しています。

会場は、廃校となった大島小学校（現・大島交流センター）のグラウンド。種目にはこだわり、住民たちが楽しく防災知識を高められるような内容にしています。今年は「救援物資運び競争」「投てきパック投げ競争」「担架搬送リレー」などを実施。運動会で取り組んだことが、いざ災害が起こったときにも生かせるように、毎年知恵を絞っています。



公民館というより何でも屋。島民が元気で過ごしていけるお手伝いをしています。困ったときに頼りにしてもらえる存在でありたいですね。

村上 和夫 所長